

2026年5月9日配布

**第391回 山口西田読書会プロトコル**  
**(2026年5月2日開催)**

奈原伸雄

**1 テキスト**

西田幾多郎 著『働くものから見るものへ：後編「知るもの」四』  
〈西田幾多郎全集 第四巻 岩波書店(1979.1.9) 350頁9行～351頁10行〉

**2 キーセンテンス及び考察と問い**

(1) キーセンテンス

「更に深い意味に於て変ずるものはかゝる限定の外に逸し去るのである」(351頁10行：「」内はテキストからの引用。傍点は筆者。以下同じ)。

(2) 考察と問い

「かゝる限定」とは、「具体的一般者」の「論理的限定」であり、「肯定的限定、否定的限定」及び「矛盾的統一」からなる。しかし、それらは「矛盾的統一」を含むとはいえ、「尚概念的限定」であり、「変ずるもの」のすべてを捉えているわけではない。従って、「変ずるもの」の「超越論的述語面」を「限定」するためには、「更に深い意味に於て」哲学的な論究が要請されるというのが、前掲文(1)の本意と解するがいかかか。